

## 2023年度 第412回教育研究審議会議事要録

日時 2023年11月14日（火）13:30～14:24

場所 本館 E-701 会議室

出席者 柳井学長、上江洲副学長、内田副学長、後藤副学長、中本事務局長、武井外国語学部長、田村経済学部長、児玉文学部長、中村法学部長、中武国際環境工学部長、西田地域創生学群長、田島大学院社会システム研究科長、松永大学院マネジメント研究科長、寺田学生部長、狭間教務部長、廣渡基盤教育センター長、篠崎入試センター長、浅羽情報総合センター長、井上環境技術研究所長

- 配布資料
- 1-1 組織人事委員会の審議結果
  - 1-2 組織人事委員会の審議結果
  - 1-3 組織人事委員会の審議結果
  - 2 (仮称)情報イノベーション学部設置準備委員会の設置について
  - 3 2022年度の取組に関する点検結果について
  - 4-1 令和5(2023)年度計画の進捗状況及び来年度の取組予定について
  - 4-2 2023年度計画の進捗状況と2024年度の取組予定について(主な取組)
  - 4-3 令和5(2023)年度計画の進捗状況及び令和6(2024)年度の取組予定について
  - 5 2023年度 学生表彰対象者推薦書の受付について
  - 6 スタートアップエコシステム共創プログラムの取組について(協力依頼)
  - 7 大学院担当教員の資格審査結果について【報告】
  - 8 北九州市立大学教員海外出張・研修報告書
  - 9 教員資格選考調書

### 第1号 新学部設置に伴う教員ポストの異動について

\* 資料1-1のとおり、2024年4月1日から外国語学部英米学科の教員ポスト1名分を環境技術研究所へ異動することについて組織人事委員会の審議結果にもとづき提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

\* 資料1-2のとおり、2024年4月1日から文学部人間関係学科の教員ポスト1名分を環境技術研究所へ異動することについて組織人事委員会の審議結果にもとづき提案。

- 資料1-1と資料1-2のどちらにも教員ポストの異動による他学部・学科との科目調整についての項目があり、資料1-2には調整についての記載があるが資料1-1では「新学部のため調整すべき科目はない。」と記載されている。外国語学部英米学科では科目調整は不要なのか。
- 外国語学部英米学科については、2019年4月新英米学科開設に向けた調整で対応出来ており、今回は対応の必要がなかったものである。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

\* 資料1-3のとおり、2024年4月1日から地域戦略研究所の教員ポスト1名分を国際環境工学部環境生命工学科へ異動すること及び、国際環境工学部環境生命工学科 加藤尊秋教授の環境技術研究所への異動について組織人事委員会の審議結果にもとづき提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

## 第2号 (仮称) 情報イノベーション学部設置準備委員会の設置について

\* 資料2のとおり、(仮称) 情報イノベーション学部設置準備委員会の設置について提案。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

### 報告

- ① 2022年度 of 取組に関する点検結果について
- ② 2023年度計画の進捗状況について
- ③ 2023年度 学生表彰対象者推薦書の受付について
- ④ スタートアップエコシステム共創プログラムの取組みについて (協力依頼)
- ⑤ 大学院担当教員の資格審査結果について
- ⑥ 教員の海外出張について

### その他

#### ・第411回教育研究審議会 第1号議案に対する質問への回答

法学部の行政法学担当教員の採用選考報告の際、教員資格選考調書のみなし資格歴について「准教授期間が2003年10月～となっているが10月1日と2日以降では合計年数が異なる。選考に影響はないが、確認出来ているのか。」と質問があった。第411回では、法学部長が確認次第報告するとしうえで議題は承認された。

上記について法学部長が確認を行ったところ、当該教員が5本目の論文を書き終えた時期が第411回で使用した資料に記載の時期とは異なっていた。その為、今回の教育研究審議会では教員資格選考調書のみなし資格歴の講師期間及び准教授期間、並びにその対象年数及び換算年数について修正した旨を報告した。